

平成二十六年 未さん申さん達の田作り

～第五期あすみっ子田んぼ、第八期大椎っ子田んぼ 草取り編～

あすみっ子は6月27日、大椎っ子は7月10日に田んぼの草取り、畦の草刈りを行ないました。5月に1本植えをした苗も扇形に5～6本にも分けつし、大きく成長しています。田んぼの中にはいわゆる雑草とよばれる草がたくさん生えています。今回はこの草取りと畦に生えた草刈りをしに子どもたちが田んぼにやってきました。

草取りは、子ども達がはだしで田んぼに入っ行って行ない、畦の草はボランティアの父兄の方に刈っていただきました。草取りでは、金谷さんから稲の成長具合や草取りをなぜしないといけないのかとか、「雑草」とよばれる草には何種類あつそれぞれ名前があつて、食べられる草もあることなどお話ししてもらいました。自然観察でも五感を使うこと、生き物にはたくさんの種類があつてそれぞれ名前や違いがあることを、あすみ小自然観察では稲富さん（通称・赤シャツオヤジ）、大椎小では網代さんにご指導いただきました。

■大椎小学校

☆田んぼにはアメンボやカエルがいました。稲は、田植えの時には10センチくらいだったのに、もう50センチくらいになっていました。2ヶ月でこんなに大きくなっていたので、びっくりしました。田んぼの草取りの時に金谷さんがクレソンとセリの見分け方を教えてくれたので、見分けることができました。セリはちょっと苦かったけど、クレソンはかんでいるとだんだん甘くなってきました。でもほんのちょびっと辛かったです。（Y.I）

☆今回、草取りをしてびっくりしたことは、田んぼに生えている草が食べられるということです。私はクレソンとセリを取って少しだけたべてみました。クレソンはトマトのような味がして、セリはとても辛かったです。クレソンやセリのおいしい調理方法を調べてみたいです。また、田んぼの草についてもっと調べたいです。（M.S）

☆田んぼの草取りでもはだしで田んぼに入ったので、田植えの時と同じ感覚がしました。田んぼに生えている草のなかには、生で食べられる草もあることを金谷さんから教えてもらいました。自然観察ではシオカラトンボが飛んでいて田んぼの中にはそのヤゴやオニヤンマのヤゴもいました。マルタニシが食べられることや、タケカレハはさわるとかぶれるということを網代さんから教えてもらいました。（K.H）

☆大椎っ子田んぼの草取りは楽しかったです。田んぼに生えている草にはいろいろな種類がありましたが、中には毒のある草も生えていると聞いて、危険だと思いました。自然観察の時は、クモ1匹とアメンボ2匹をつかまえました。クモはタマゴを持っていてちょこちょこ畦を歩いていました。森ではせみが鳴いていました。ありがとうございました。（T.M）

☆田んぼの草取りはすごく楽しかったです。田んぼに来たのは2回目ですが、稲があんなに大きくなっていたので、びっくりしました。金谷さん、草取りをするときにいろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。網代さん、自然観察ではトンボについて教えていただきありがとうございました。本当に楽しかったです（K.S）

☆稲が少し大きくなっており、植物の成長が感じられました。自然観察では、カラスにも2種類いることがわかりました。その違いは鳴き声でした。これからはわからないことがわかったらいいなと思いました。（H.H）

☆ぼくがイトトンボをつかまえて、網代さんに見せに行ったら、「オオイトトンボだよ」と教えてもらったので、オオイトトンボを覚えました。今日は台風が近づいていたので、あんまり生き物が見られなかったけど、トンボをつかまえると、網代さんがほめてくれました。（K.A）

☆小山町の谷津田に行って、カラスには2種類いることや稲が危ないことがわかりました。稲は表と裏とで感触が違って、ザラザラな方とツルツルな方があることがわかりました。田んぼの深さが、田植えをしたときより深くなっていました。田植えの時はひざ下だったのに草取りの時にはひざ上までもぐってしまい、ズボンがよごれてしまいました。行きと帰りは大変だったけど、田んぼで草取りをしたり、自然観察したりするのは楽しかったので、また、行きたいです。（M.D）

☆ぼくは田んぼに苗以外のいろいろな草があることを知りました。田んぼの栄養をいっぱい取ってしまう草や食べられる草がたくさんあつて、びっくりしました。こんなに草があると、苗がとる栄養がなくなってしまうのではと心配になりました。（Y.T）

☆大椎っ子田んぼの草取りをしに田んぼに来ました。田植えの時より草がいっぱい生えていました。いろいろな草が生えていて、金谷さんが「ここに生えている草は、ほぼ全部食べられる草なんですよ」と教えてくれました。私は、生えている草を食べてみましたが、あまり味はしませんでした。草のことをいろいろ調べて

も楽しかったです。(S.H)

☆草取りのために田んぼに入ったけど、タニシがたくさんいて入りにくかったし、草をとった時にドロがかかってしまってとても大変だった。自然観察ではたくさんの生き物はいなかったけど、オニヤンマのヤゴが2匹とトンボをみることができた。カエルやオタマジャクシもいた。ハートの形をした葉っぱをとって持ってかえり、家でおみそ汁の中に入れて食べました。とてもおいしかったです。(N.U)

☆草取りに行き、田んぼの中にクモとか虫とかがいるから、入りたくないと思っていたけど、ぜんぜんいなかったの、楽しく草取りができて、よかったです。自分で植えた稲のお米を食べるのがすごく楽しみです。(H.O)

■あすみが丘小学校

☆わたしは今日のあすみ田んぼで、稲のくきがとてもしっかりし稲がとても大きくなり、ざっ草も増えたことにびっくりしました。稲の成長はとても速いなと思いました。あと、ざっ草も先月より多くなり、稲の成長と共にざっ草の成長も速いなと感じました。田んぼはとても大事で大切なところだということを、今日学びました。これからも、田んぼを大事に大切にしたいなと思います。(S.N)

☆今日、私は初めての草取りをしました。草取りは遊びじゃなく体験でもなく仕事だということが分かりました。草をいためないようにするコツはゆっくりとそーっとふんでかかから足をぬくことです。金谷さんの話によると20年間田んぼをやっていた人が草取りの時に目の近くに草が入って目が見えなくなったということです。それを聞いて私が思ったことは草取りを真けんにやらなければ大きなけがにつながるということです。今日の草取りは農家の人の大変さを感じました。この谷津田は水がすごくきれいなためお米はとくべつな味がすると聞いたので、すごくおいしいお米に育ってほしいなあと思いました。(Y.H)

☆やっぱり、米を作るのは大変なんだと思いました。でも、大変だからこそ田んぼからどろまみれの足をぬきだすあのしゅん間は、すごく達成感があって、『次もがんばろう』と感じます。『がんばった!』と『次も!』というなんとも言えないこの感情は、この田んぼでがんばったあとの時しか味わえない特別なモノなんだなと思いました。お米だって他のいっぱい植物たちや動物たちだって私達人間だって、ささえてほしいこと、自分だけじゃできない事はある事がよく分かりました。このあすみ田んぼ学習では、いろいろ学びました。楽しい、面白い、悲しい、大変さ、苦労さ、自分の情けなさ、いろいろあって、次、もっと詳しく学びたい事もあります、よくいろいろ学んだと思います。次の仕事もがんばります。(N.O)

☆今日、草取りをしました。草取りで楽しかったことの1つ目は、みんなと協力して、楽しく、草取りをできたことです。びっくりしたことは、タニシという生き物が田んぼの中にいたことです。あと、草取りをしていた時に、すごいくきを見て、そしたら金谷さんが「これはくきがいっぱいあるんだよ。」とおしえてくれました。今日のあすみ田んぼが楽しかったです。(S.H)

☆私は、6月27日にあすみ田んぼに行った時、最初、稲がぐんぐん大きくなって成長している事に気づき、とてもビックリして、うれしくなりました。草取りは「田の草」とよんでいるそうです。最初の方は、むにゅむにゅしていると思うと、少し気持ち悪かったけど、だんだん楽しくなってきた、「3回目!!」「4回目!!」といっぱい田の草をしました。とても楽しかったです。稲も成長して行ってほしいです。(A.N)

☆6月27日にあすみ田んぼの草取りに行きました。やっぱり、「遊び、体験ではなく仕事」だと言っていました。そして、「しゃがんだ時に、稲の先が目にはささってしまうかもしれないので、気をつけてください」と言っていました。田んぼに入る時、前より虫がいっぱいいました。とても水がきれいでした。谷津田は自然に優しいなと思いました。これからどう育つのか楽しみです。(I.T)

☆稲は成長して2枚ぐらいだった稲が3~8枚ぐらいになり、おうぎのような形になっていた。稲のまわりには、稲ではないちがう草が生えていてその草には小さな虫がいました。草取りの時は稲がとがっていてちがう草が取りづらくなっていました。(Y.M)

☆今回は「あすみ田んぼ」の草取りがありました。いねは、5月に行った時よりすごくのびていてびっくりしました。草の種類も18種類ぐらいあると聞いたので18種類見つけようと思いました。だけど、18種類を見つかるのは、けっこうむずかしくて、18種類は見つけれませんでした。だけど、3種類見つけられて、うれしかったです。その中でも、1つは、食べられる草があってびっくりしました。自然観察では、5月とはちがう虫がいました。ヨコエビやヒルなどもいました。ヨコエビは、すごく小さくて動き方がおもしろいです。ヒルは見たことがなかったので見れてよかったです。想像していた大きさとちがくてびっくりしました。今回も、また、いろんな植物、虫などが見れて、とてもよい学習になりました!(M.M)

☆ぼくは、草取りのときに、稲のさきっぽがざらざらしていてすごかったです。稲がうめてあった所は、すごく深かったです。ぼくは、深い場所へ行ったので、どろがズボンの所までできてびっくりしました。ぼくの足はみじかいので、ふかい場所に行くと足がうもれてでられなくなっちゃいます。足のつめの中にはどろがいっぱいできもちわるかったです。また田んぼの草取りをやりたいです。(J.H)



里山たんけんレポート



第174回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2014年7月6日(日) うすぐもり

樹液の出ているクヌギから巡りましたが越冬したコクワガタやカナブンはいましたがカブトムシはまだ出ていませんでした。今年はちょっと遅いようです。ニイニイゼミの声も聴けませんでした。ヒグラシの抜け殻がありました。夏の虫も間もなくでしょう。ムラサキシキブとヤブムラサキの葉の感触の違いを感じたり、クロモジの枯れ枝の香りを楽しんだり、ハエドクソウの花の咲き方一蕾は上を向き、花は横向き、実は下向きになる一などを観察しました。キノコは秋のもののように思えますが結構キノコもいろいろ出ていました。林縁に出ると羽化したアカトンボの仲間がそこそこにとまっています。圧倒的にノシメトンボが多く見られました。木や草の葉の上にはシュレーゲルアオガエルとニホンアマガエルの仔ガエルがちょこんとんでいます。近く餌をじっと待っているのでしょうか。ネジバナがそこそこ咲いていましたが、中に白花のものがありました。クワの枝ではクワカミキリが見られました。又ヌトラノオは茂った草の間に埋もれるようにして咲いていました。

(参加者 大人14名、こども3名； 報告：網代春男)

第163回 下大和田 YPP「あぜの草取り」(第6回米づくり講座)

2014年7月19日(土) くもり

6月に田の中の草取りをしました。コナギ、オモダカ、ヘラオモダカなどがたくさん発生、大きくなり水面を覆っています。オモダカやヘラオモダカは花を咲かせ始めていました。今日は「畦の草刈り」ですが一部は田の中の草取りも行いました。鎌で的人力と刈払機の機械力で畔、小川周りはすっかりきれいになりました。刈り終わった畦の草の上に泥をかぶったクサガメが現れたりしました。草刈りで傷つけず良かった！！こども達はカブトムシ探しに一生懸命でしたが今年は発生が遅いようで数匹見られただけのようなのでした。まだ出始めて、産卵もこれからと思われるのでこども達には気の毒でしたが放してもらいました。天候がちょっと心配でしたが無事14時の定時で作業は終了しました。

(参加者 大人22名、小中学生8名、
報告 網代春男)



刈った草の上で休んでいたクサガメ (撮影：松丸一郎)

第111回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

2014年7月12日(日) 晴れ

コシヒカリを植えた田んぼのうち、コナギやヘラオモダカが元気な場所の草取りをしました。稲株の間をびっしり埋めるようにすき間なく生えている草を腰をかがめて取るのはなかなか大変な上、強い日差しが照りつけて真夏の暑さでした。流れる汗をぬぐいながら、時々休憩して水分補給をしながらの作業でした。ヘラオモダカは花の莖を伸ばして白い花を開き始めていて、これは実になっては大変と集中的に抜きました。一方でミズオオバコのような珍しい植物が雑草の間で花を開いているのには気遣いが必要です。そんな状況でなかなか作業がはかどりませんでした。それでも田んぼがだいぶすっきりしました。

その後、YPPの活動日以外も有志の皆さんが草取りを進め、出穂が進む前に草のひどい場所はだいたいなくなりました。

(参加者：大人5名；報告：高山邦明)



真夏の日差しの下での草取りはなかなか大変です。

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月12日 ニイニイゼミが鳴き、畦でツククサ、田んぼでヘラオモダカが開花。チョウトンボを見る(高山)。
7月19日 コシヒカリが出穂。斜面林の縁でヤマユリが大輪の花を開く。畦ではアキノタムラソウが、田んぼではセリやオモダカが開花。草取りをしているとケラの幼体がたくさん出てきた。アブラゼミの声を今季始めて聞く。ウワミスズクラの実が色づく(高山)。
7月27日 黒米が出穂。トモエガが稲に留まっていた。田んぼの上をギンヤンマが縄張り飛翔(高山)。
7月31日 ミンミンゼミの声を今季はじめて聞く。田んぼでショウジョウトンボが産卵していた(高山)。

下大和田

- 7月12日 カブトムシ、ノコギリクワガタを初めて見る。ニイニイゼミ、ヒグラシの声初めて聴く(網代)。
7月18日 黒米が出穂、コシヒカリは穂をのぞかせているものもあった(網代)。
7月21日 ヤマユリ咲き出す(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼第164回下大和田 YPP「かかしづくり」(兼、第7回米づくり講座)

今年の収穫が無事終わることを祈って、かかしを作ります。グループに分かれて思い思いのかかしを作りましょう。コシヒカリの穂・モミを数えて今年の収量を予想する調査もします。

日時: 2014年8月16日(土) 9時45分~14時 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:23、8:38など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物(暑いのでたっぷり): 目安は一人1リットル以上、長靴、帽子、軍手、敷物、もしあればかかしに着せる古着など。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第176回 下大和田 9月の谷津田観察会とごみ拾い

鳴く虫が元気な季節、秋の花も咲き出します。秋のはしりを感じながら谷津を巡ります。観察路のトンボの調査も行います。

日時: 2014年9月7日(日) 9時45分~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPPに同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時: 2014年8月10日(日)、8月15日(金) いずれも9時45分~15時

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催: ちば環境情報センター

▼小山町 YPP: 8月はお休みにします。9月からの農繁期になりましたらまたご協力をよろしくお願いします。

編集後記 残暑お見舞い申し上げます。冷夏の予想から一転して猛暑の毎日。野外作業は危険レベルで、実際にギラギラ照りつける太陽の下、田んぼで草取りをしていると滝のように汗が流れて頭がクラクラしてきます。その傍らで稲の上をいつまでもスイスイ飛び回るシオカラトンボ。縄張りに入ってくる別のオスを追い払い、自分の領域を守るために暑さをもとせずに飛び続ける力には平伏してしまいます。生きものたちの力はすごい! でも、対抗してヒトが暑さの中、がんばり過ぎるのはやはり危険ですね。(高山 邦明)